

## データで見る宮崎の集落営農 !!

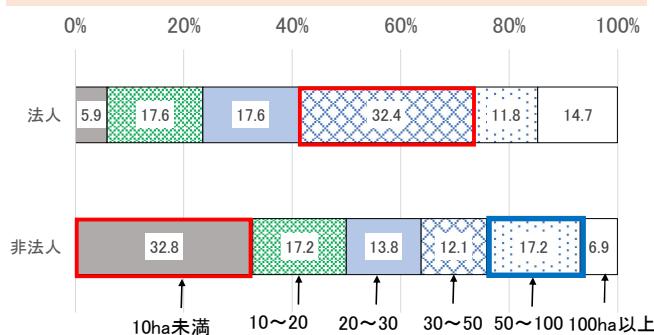
- 令和7年集落営農実態調査結果（令和7年2月1日現在）が公表され、宮崎県の集落営農数は「92」、うち法人の集落営農数は「34」で前年同様、非法人の集落営農数は「58」で前年から3增加しました。
- 農地の現況集積面積（規模別）の集落営農数割合をみると、法人は30～50haの面積規模割合が32.4%（実数11）と最も高く、非法人では10ha未満の割合が32.8%（実数19）と最も高くなっています。また、非法人の50～100ha規模の割合は17.2%（実数10）と、全国（7.1%）に比べ高い割合となっています。

### 集落営農数の推移(宮崎県)



資料:農林水産省「令和7年集落営農実態調査結果」

### 農地の現況集積面積×規模別 集落営農数割合 (宮崎県)



※現況集積面積とは、経営耕地面積及び農作業受託面積を合計した面積をいう。

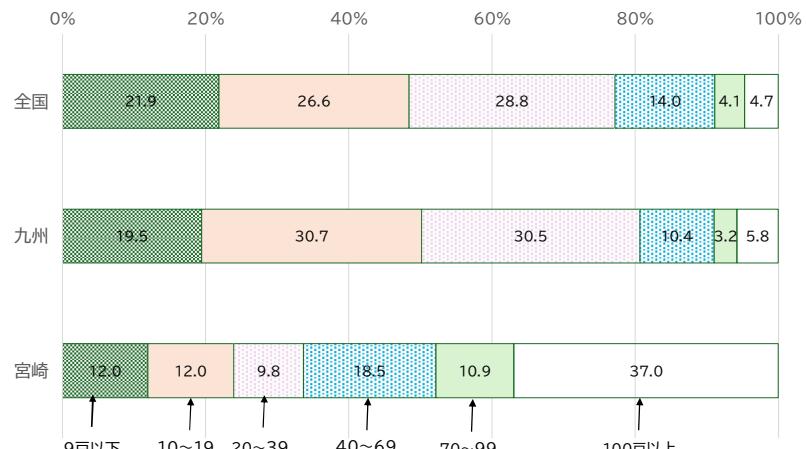
## 令和7年集落営農実態調査結果

### 集落営農を構成する農家数別にみた集落営農数割合

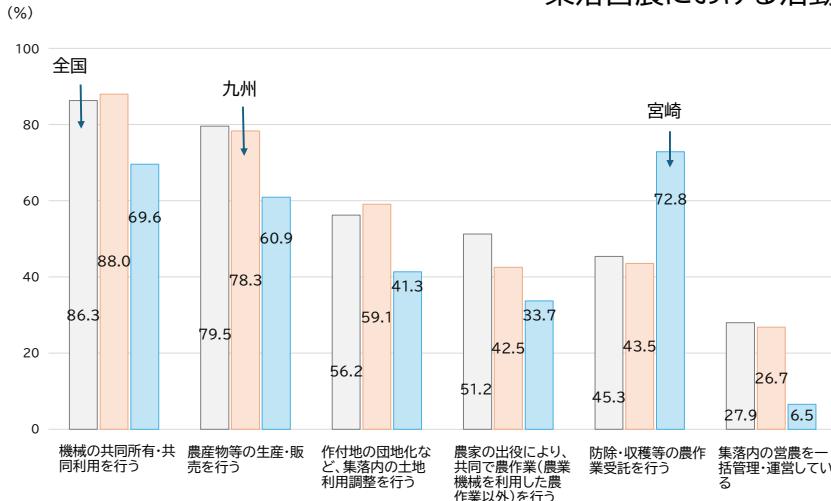
#### 結果概要

集落営農を構成する農家数別に集落営農数割合をみると、全国及び九州では10～19戸、20～39戸の割合が高く、戸数が増加するほど割合が低い傾向となっています。

一方、宮崎では100戸以上の割合が最も高く37.0%を占め、次いで40～69戸の18.5%となっています。



### 集落営農における活動内容(複数回答)



#### 結果概要

集落営農における具体的な活動内容をみると、全国及び九州では「機械の共同所有・共同利用を行う」集落営農の割合が最も高く、次いで「農産物等の生産・販売を行う」となっています。

一方、宮崎では「防除・収穫等の農作業受託を行う」が72.8%と最も高くなっています。また、集落営農の活動内容にも違いのみえる結果となりました。